

【link】

環、結合させる人(物)、
つなぎ、きずな、連結

CONTENTS

後援会会長ごあいさつ	1
2008年度教育懇談会	2
キャンパス歳時記	4
学科NEWS	6
海外研修レポート	11
ひと四方八方	15
就職最前線2008	16

保護者と大学を繋ぐ

広島国際大学後援会 会報 Vol.14 December.2008

～目をはなすな 手をはなせ～

スローガン

◆建学の精神

世のため、人のため、地域のために「理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人の育成」を行いたい。
時代と地域が求める真のフィールド・スペシャリストを養成する使命と情熱。

◆大学の目的

広島国際大学は、時代の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教育研究し、深い教養と豊かな人間性を備えた健全な有為の人材を育成し、もって国際社会の発展と学術・文化の向上に貢献することを目的とする。

◆教育の理念

本学における教育は、豊かな人間性と命の尊厳を基本とする。この理念に基づき、新しい時代が求める専門的な知識と技術の習得を進めるとともに、健康、医療、福祉、そして生活の分野において必要とされる環境、工学、情報の各領域で活躍しうる職業人を養成する。もって、地域社会と国際社会に貢献し、人類への奉仕に寄与する。

さて、後援会最大行事の教育懇談会も、今年は10会場（東広島、呉、福岡、山口、岡山、熊本、大阪、広島、香川、愛媛）で実施し644組・864名の参加をいただきました。午前中は、学生生活・就職についての講演が行われ、子ども達の生活状況や就職状況を知ることができました。おいしい料理を囲んだ懇親会では、各学科の先生方と和やかな一時を過ごすことができたと思います。午後からの個人面談では、保護者と先生とが一对一で成績表や事前

がお過ごしでしょうか。
広島国際大学後援会は、保護者の皆様を会員として「大学と家庭の連絡を密にし、大学の教育目的の達成に協力・援助するとともに、大学の発展向上に寄与すること」を目的に活動して参りました。

街路樹の枝をならす木枯らしの音も身にしみることになりました。会員の皆様におかれましてはいかが

ごあいさつ



広島国際大学後援会

会長 田中 祥恵

の子ども達との面談資料を参考に、単位が足りているか、生活態度や就職活動などについての相談にのっていたいただきました。ある保護者の方は、「子ども自身からだけではなく、先生からもお話が聞けるとホッとします」と喜んでおられました。

2004年にはじまりました教育懇談会も、5年目を無事終えることができました。森永学長先生・秋山副学長先生をはじめ、教職員の皆様には各会場に足を運んでいただき、ご支援・ご協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。また、懇談会後に皆様からいただきましたアンケートのご意見をしっかりと受け止め、今後に生かして参りたいと思います。

今、私たちを取り巻く社会は、めまぐるしく変動しております。私たちの子ども達は間違いなく20年から30年後のこの社会を支えることとなります。変化する時代を生き抜く力を育てることは、私たち親に課せられた最大の課題だと思います。スローガンには「目をはなすな手をはなせ」とありますが、子ども達と向き合い、必要としている時は手を貸して、しっかりとコミュニケーションを取っていききたいものです。

後援会は子ども達が有意義な学生生活を送り、広島国際大学で学ぶことに誇りと喜びをもって無事大学を巣立ってゆくことができますよう、大学の教職員の皆様と共に努力して参りたいと思います。どうかこの主旨をご理解いただきまして、ご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2008
年度

大学と保護者がともに学生を支えるための 教育懇談会

出席者
644組
864名

保護者と大学のコミュニケーションを図ることを
目的とした、後援会最大のイベント
「教育懇談会」を今年度も10会場で開催！
昨年度の出席者数を上回る保護者の方々が
ご参加くださいました。

各会場では、会長もしくは副会長の挨拶の後、森永学長（熊本会場においては秋山副学長）から、大学の教育内容等の説明が行われました。その後の学生生活や就職活動に関する講演会では、安全で健全な学生生活や奨学金制度等の説明および就職活動の方法や過去の就職実績、親子間のコミュニケーションについて講演いただきました。

その後の昼食会では、学科ごとのテーブルにわかれ、先生や他の保護者の方々と和やかに情報交換をすることができました。

午後からの個別面談では、日頃の生活態度や学業成績、国家試験や就職状況等の質問に

ついて、担当教員から直接説明を受けることができました。

また、個別面談の順番を待つ控え室では、教務・学生・就職の個別ブースが設けられ、各担当職員から、きめ細やかな説明を受けることができたと同時に保護者同士の親睦も深めることができたようです。

広島県以外で開催された学外会場では、「遠くに住む我が子の様子を、とても近くで知ることができると喜びと安心の声を多く聞くことができました。

来年度もより多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。



森永規彦学長



田中祥恵会長

懇 談 会 D A T A

教育懇談会日程

会 場		日 時	出席者
広島会場	東広島 キャンパス	2008年10月25日(土) 10:00～16:00 ※大学祭の開催日	147組 201名
	呉 キャンパス	2008年11月1日(土) 10:00～16:00 ※大学祭の開催日	134組 175名
福岡会場		2008年11月15日(土) 10:00～15:00	54組 70名
山口会場		2008年11月16日(日) 10:00～15:00	34組 52名
岡山会場		2008年11月22日(土) 10:00～15:00	23組 30名
熊本会場		2008年11月23日(日・祝日) 10:00～15:00	28組 40名
大阪会場		2008年11月24日(月・振休) 10:00～15:00	47組 68名
広島会場		2008年11月30日(日) 10:00～16:00	126組 159名
愛媛会場		2008年12月6日(土) 10:00～15:00	21組 25名
香川会場		2008年12月7日(日) 10:00～15:00	30組 44名

次第(全会場共通)

時 刻	次 第
9:30~	受付
10:00~	後援会会長挨拶(もしくは副会長)
10:10~	学長挨拶(もしくは副学長)
10:20~	学生生活等について(35分) 学生支援センター 休憩(10分)
	就職に関する講演会(50分) キャリアセンター
12:00~	昼食会
13:00~	面談 学科別個人面談 各部署別面談(教務・学生・就職)
15:00	終了 ※ 広島会場については、16:00終了



森永学長より、大学の急速な発展の状況と、一人ひとりへのきめ細やかな教育・支援の取り組みについて説明をいただきました。



個別面談では、担当教員から直接お話が聞けるので、日頃の不安を取り除くことができました。

保護者の声

- 一人ずつに時間をさいて質問に答えてくださり、感謝しています。
- 真剣な思いで我が子たちを教育していただき、素晴らしい大学で学べる我が子も、私も幸せです。
- 親子でこの先4年間の目標が持てました。
- 学業だけでなく、生活面にも気配りをしていただいて、ありがとうございます。
- 毎年参加する度に、細やかな心づかいのある指導と、環境整備の進歩がうれしく思えます。



昼食会では和やかな情報交換で会話がはずみました。

広島国際大学 大学祭を開催！

メインテーマ な ご み

和 深

キャンパス
歳時記

東 広島キャンパス サブテーマ「彩10th」

大学祭を彩る大学生・教職員・地域の方のきらめきを表現。



全長40mのロング巻き寿司「ヒロコク☆スタミナ巻き」を150人で
つくりました！一気に巻くダイナミックさに参加者も大喜び！

もちまきで、
大学祭がスタート！
熱気あふれる光景でした！

後援会OBのLink'sの
皆様がつくった、美
味しい「おでん」
も好評でした！



2日間にわたり、盛大に大学祭が行われました。メインテーマは「和深」とし、学生同士の「和」、地域との交流としての「和」などの「和」を深めるという意味が込められました。当日は、学生はもちろんのこと、保護者の方や、地域の商工会・青年会・自治会をはじめとする多くの方々に参加をいただきました。

また、東広島キャンパスでは、1日目に「笑い飯」と「ポールボーイ」さんをお招きしての、無料お笑いライブも行われ、たくさんの方々の笑顔が見られました。2日目に講堂で行われた「市民交流音楽祭」には、地域の方を含む1500人が参加され、音楽を楽しみました。

それぞれのキャンパスの初日に教育懇談会が同時開催されたため、多くの参加者の方々が大学祭の熱気を体感することができました。



大学祭の準備などを通じて、確認・報告・連絡の大切さを学ぶことができました。この経験を踏まえて、将来はイベントや企画を行う仕事をしたいと思っています。

11月1日(土)・2日(日)の大学祭では、もちまきや、ダンスバトルなどのステージイベント、献血・骨密度測定、キャンプファイヤーなどを行いました。1日目には、教育懇談会帰りの保護者の方々が、模擬店のご利用やステージイベントに参加してくださいました。

interview

村上直也さん

呉キャンパス大学祭
実行委員長

工学部住環境デザイン学科3年

東広島キャンパスは10月25日(土)・
26日(日)、呉キャンパスは
11月1日(土)・2日(日)に開催しました！



2008年度

オープン キャンパス

2008年度7月、8月、9月に東広島キャンパス、呉キャンパスにて計6回のオープンキャンパスを開催し、3124人の参加がありました。

各会場にて、大学・入試説明会や各学科の模擬講義、施設見学等を行いました。

来年1月・2月には、一般入試を実施します。皆様のご家族、またはお知り合いの方で本学に興味をお持ちの方がおられましたら、お気軽に入試センターまでご連絡ください。大学案内等の資料や入学案内（願書）を無料で送付させていただきます。

【お問い合わせ先】

入試センター

フリーダイヤル TEL:0120-55-1659

ゴーゴーヒロコク



大学・入試説明会



施設見学(臨床工学科)



interview

田辺真海さん

東広島キャンパス大学祭
実行委員長

保健医療学部理学療法学科2年

大学祭実行委員長を務める中で、プログラム冊子の広告営業などについて外部の方とやりとりをする中で、学べたことが多くありました。

10月25日(土)・26日(日)の大学祭では、豪華な賞品が当たるビンゴ大会が好評でした。1日目に両親が大学祭へ来てくれたので、飛び入り参加で女装大会の審査員をしてもらったのも良い思い出になりました。

人が楽しんでいるのを見るのが好きなので、大学を卒業しても人を支える立場でありたいと思っています。まだはっきりとした進路は決めていませんが、まずは第一歩として、来年の病院実習をがんばります。

呉キャンパス

サブテーマ「新☆HERO」

地名の「新広」という意味と、
大学祭がヒーローのように誇れるようにという思いを表現。



学科 NEWS

学生の様子や大学の行事、
研究などについてご紹介します。

保健医療学部

診療放射線 学 科

堀口隆良学科長に
聞きました！

4年次生への
国家試験対策と、
卒業生支援
システム

診療放射線学科では、規模の大きな病院等での就職が有利になるため、2年次以降には第一種放射線取扱主任者、3・4年次にはさらに第一種放射線取扱主任者の資格取得を促しています。今年度の結果としては、第一種放射線取扱主任者試験合格者数94名、第一種放射線取扱主任者試験合格者数は30名と、昨年に比べて大幅に増加しました。

4年次生の国家試験対策としては、模擬試験結果を踏まえ、特別対策講座などを行っています。技師国家試験の結果につきましては、今年度からは3月末には分かる日程となりました。また今年度から初めて卒業生支援システムも導入され卒業後の国家試験への再チャレンジがしやすい環境となりました。多くの学生の皆さんがアルバイトなどの時間を惜しみ、必死で勉強しています。保護者の皆様には、成績表を見ていただくなど、お予様を日頃から気にかけていたけますよう、これからもよろしく願っています。

- ◆第二種放射線取扱主任者試験合格者数 94名
(全国平均合格率 37.8%) (本学平均合格率 64.3%)
2年次生 36名、3年次生 43名、4年次生 15名
- ◆第一種放射線取扱主任者試験合格者数 30名
(全国平均合格率 34.4%) (本学平均合格率 52.1%)
3年次生 9名、4年次生 16名、卒業生 5名

1 卒業生支援システム (各科共通)
国家試験等の結果が不合格であった広島国際大学の卒業生が、少額で大学の試験対策等を受講できるシステム。卒業後の再チャレンジへのサポートとして、2008年度から導入された。

臨 床 工 学 科

南山求学科長に
聞きました！

学生の意欲が伝わる
国家試験への
取り組み

国家試験対策として、4年次生を対象に10月から各教員がそれぞれの得意分野を受け持ち、講義・演習を行っています。希望者を募るとほぼ全員が希望し、とても意欲が伝わってきます。また、分らないところを学生同士で教え合う姿などもよく目にします。年末から年始にかけて、実家へ帰られるお子様の保護者の皆様には、お子様の健康管理と、ほどよい緊張感の維持に關しまして、ご協力をお願いいたします。

就職に關しましては、夏休み頃から年末にかけての内定通知が多く、本学科におきましては現在、ほぼ半数の学生が内定をいただいています。

3年次生は年明けから3月にかけて、4年次生からアドバイスをもらいながら卒業研究の内容を検討していく、4月からいよいよ研究が始まります。サークル活動で活躍している学生も多く、これからも充実した学生生活を送っていただける環境づくりに努めていきます。

理学療法 学科

河村光俊学科長に
聞きました！

4年次の総合臨床実習に向けての 実習を計画

理学療法学科では、2年次の2月から3月にかけて評価実習を行っています。3年次生は前期の終わりに研究室を決定し、後期から卒業研究を始めています。今後の4年次生は総合臨床実習として、5月から10月にかけて病院実習を行う予定です。現在、全国200か所の実習先と連携して構成されている臨床実習連絡協議会で、実習のあり方を協議したり、実習計画を立てています。また、実習中に教員が実習先へ訪問する予定にしており、学生が安心して実習をしていただけるよう準備を進めています。

理学療法学科には成績

が優秀で、クラブ活動を盛んに行っている明るい学生が多いと思います。毎年恒例の保健医療学部の3学科対抗スポーツ大会は学生にも人気で、とても盛り上がりです。



医療福祉学部

医療福祉 学科

山口真里先生に
聞きました！

仲間や先輩から学べる 環境づくり

8月から9月にかけて、3年次生の実習を行いました。実習生のなかには、実習先の福祉現場で卒業生と交流ができた人もおり、現場の生の声をたくさん聞けたようです。実習中は、教員が各実習先を訪問し、心配事など面談を行いました。その後、11月に2年次生を交えての報告会がありました。2年次生にとっては、次年度の実習先を選ぶ参考になり、3年次生との繋がりもできる、とても良い機会となったようです。

4年次生は1月の国家試験を控え、学生同士で勉強する雰囲気づくりができています。同じ研究室の学生と教員の距離も近いので、質問しやすい環境にもなっていますし、学生一人ひとりに対し目が届きやすいので模擬試験の結果などを分析し、個別に指導ができる体制を整えています。保護者の皆様にも、時々お子様の話を聞いていたくなく、気持ちの面でのサポートをお願いいたします。

医療経営 学科

林行成先生に
聞きました！

医療系や一般企業、 就職先は様々

医療経営学科では、医療系の就職に役立つ診療情報管理士や医療情報技師の資格取得を3年次に勤めています。1年次よりカリキュラムを編成し、診療情報管理士については毎年30人程度の学生が資格を取得しています。

また、本学科で学ぶ経営や情報についての知識は、医療系の現場はもちろんのこと、一般企業にも対応できる力となっており、就職先は様々です。一般企業を中心とした就職を希望する学生に

診療情報管理士学内認定式



については、3年次の12月から就職活動が本格化します。この時期には、病院などの医療系の道に進むか、一般企業へ進むかの選択が必要となりますので、保護者の皆様には、相談に乗っていただくなどのご支援をよろしくお願いいたします。



看護学部

看護学科

江口瞳先生に
聞きました！

「がんばれ」ではなく、
心の支えになってあげることが大切

看護学部では、「自ら学び、自ら取り組む学生」を育てています。普段から学生に「なぜ？どうして？」と投げかけることで、本質を理解してもらう工夫をしています。医療等の現場においても、目の前の患者様が求めていることを理解するためには、本質を見抜く力が必要だからです。

4年次生の国家試験対策としては、定期的な模試や対策講座、個別指導、強化対策などを行っています。本番には「あせらない・あきらめない・あなごらない」の3つの「あ」で臨むと良いと思います。皆、本当によくがんばっています。年末から年明けにかけて、試験を周近に控えストレスを抱えるお子様もいらっしゃると思います。普段から大学の方でも心の面もサポートさせていただいていますが、保護者の方にも「努力している姿勢」を受け止めていただいて、「がんばれ」ではなく、そっと見守り、苦しい気持ちを表現できるよう、心の支えになっていただけると幸いです。

心理科学部

臨床心理学

森本修充学科長に
聞きました！

進路選択決断への
やさしい思いやりが大切

臨床心理学科では、幅広い心の勉強をしているためか、思いやりを持つ気付きのある学生が多いと感じます。そのような気立てを持ち、心を専門とした学びを習得した学生は、就職に関しても多方面から評価をいただいています。

3年次から4年次にかけては、臨床心理士をめざした大学院進学や就職などの進路選択に悩み、決断をする時期です。自分の希望と異なる決断をすることもあり、心を痛める場合もあります。しかし、つまり、真摯に「選ぼうとする力」は、新たな力として自分自身に返ってくると思います。教員もサポートしていますが、保護者の皆様には、一見、学生が進路について深く考えていないように見えても、実は一生懸命考えているということを認めてあげながら、やさしく思いやって、相談にのっていただけたらと思っています。

コミュニケーション学科

久次弘子先生に
聞きました！

万全の対策で、
楽しみながら行う就職活動

「コミュニケーション学科では、コミュニケーションについて学ぶことはもちろんのこと、まちおこしのワークショップや、小学校とタイアップしてディベートの授業を行うなど、メディアから注目されている実習なども行っています。

ビジネス・コミュニケーション、セルフプレゼンテーションなどのカリキュラムもありますので、就職活動の時の面接対策は万全です。3年次までに卒業論文以外の単位を取得できるシステムになっていますし、多くの4年次生には「楽しみながら就職活動ができる」とよく声をかけてもらっています。

就職活動をより良い環境で行うためには、体に合わせて仕立て直したスーツを4着程度、カッターシャツ、ブラウスは5枚、靴は3足、ネクタイも4本は用意する必要があります。これらを揃えるために、保護者の方からの資金のご支援をいただくと、お子様も心強いと思います。



感性デザイン学科

井上勝雄学科長に
聞きました！

企業と連携した実践などが豊富

感性デザイン学科では外部の企業などと連携して、実践で商品開発を行っています。最近では三洋電機株式会社と、シェーバーの形状を共同で検証し、2008年3月に「PULL剃り」ペングリップスタイルシェーバーを製品化しました。「シェーバーで剃ると肌が痛む」という声を反映して、肌へ押し付けるのではなく、安全かみそり^①と同じ握り方のペングリップスタイルで引きながら剃ることができる、肌にやさしく使いやすい形状になっています。

メールなどが普及している現代だからこそ、学生が研究室へ足を運ぶことが大切です。保護者の皆様も、サマーセミナーなどのイベント時には、ぜひ研究室へお越しください。



工学部

機械ロボティクス学科

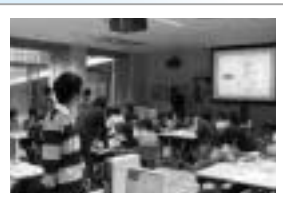
川上用一学科長に
聞きました！

地域と連携して進める、SSP活動とインターンシップ

機械ロボティクス学科には現在2年次生までの学生が在籍しています。

本学科の学生が多く所属する「カラクリ倶楽部」では、今年度SSP活動として、呉大和ミュージアムや地域団体「宇宙少年団」と協力して小中学生を対象に、「楽しく学ぼう工作教室ーキミのラクガキが動き出す」と題した理科教室を3回行いました。大学祭の日に合わせて開催した教室では、近郊の小学生34名が大学を訪れてロボットづくりを体験しました。

また、来年3年次生にはインターンシップの実施を予定しています。その際、社会へ出るために必要な意識づくりや学習支援にも力を入れていきます。インターンシップを通して、自分自身の将来のイメージに近づけることができるよう、地元企業をはじめとした多くの企業との協議を現在行っています。



2 SSP

(スチューデント・ソサエティ・パートナーシップ)
学生が地域社会の人々とパートナーシップを結び、社会的価値ある活動を推進するプログラム。

3 インターンシップ

学生が一定期間企業などで研修生として働き、就業体験を行える制度。

情報通信学科

小谷教彦学部長に
聞きました！

きめ細かい就職活動支援

情報通信学科では、9月に希望者を募って、工場（企業）見学を実施しました。訪問先としては、(株)日本製鋼所(株)ディスコ、テラル(株)などです。就職支援につきましては、キャリアセンターとのタイアップで、就職活動に対してきめ細かい個別指導も行っています。また、学部として毎月「進路支援戦略会議」を行い、それぞれの学科ごとの就職活動状況などについて、話し合いの場を設けています。その甲斐あって、工学部はすべての学科(機械ロボティクス学科は2010年度に1期生が卒業で就職率100%を達成しています)。

保護者の皆様方には、お子様が「こんなことをやりたい!」というやる気を引き出すためのサポートとして、ご家庭でよく話し合いをする場をもつていただければ幸いです。



学科

住 環 境 デザイン学科

石津嘉昭学科長に
聞きました！

国内外での幅広い研修と教育

住環境デザイン学科では、建築学科と合同で毎年夏に国内研修（3泊4日）、海外研修（8泊9日）を行っており、今年は関西、パリ・コペンハーゲンへ行ってきました。本学科は建築学科との結びつきが強く、卒業研究発表会での相互参加や卒業設計展大和ミュージアムなどにて実施の共同展示などを行っています。住環境デザイン学科においては、毎年クリスマススに行われている「灯り展」にも参加しております。

保護者の皆様には、ぜひ卒業設計展へ足を運んでいただき、直接学生たちの作品をご覧になっていただきたいと思っています。



建 築 学 科

藤谷義信学科長に
聞きました！

「高校生セミナー」や卒業設計展、 国内・海外研修が好評

建築学科では、住環境デザイン学科と合同で行う卒業設計展、国内・海外研修のほかに、8月に「高校生建築セミナー」を昨年に引き続き2日間参加者各10名程度で行いました。本学科に入学する前から建築に興味をもっていたり、機会として大変喜ばれています。また、就職活動に対する支援にも力を入れており、卒業生が各方面へ就職しています。

これからも保護者の皆様と直接意見を交換すること、で、大学と保護者の皆様でお子様をサポートしていけたらと思っております。ぜひ、来年も積極的に教育懇談会（全国10会場で開催）へご参加ください。



薬 学 科

中牟田弘道先生に
聞きました！

予備校講師による 国家試験対策も充実

薬学科では、国家試験を周知に控えている4年次生へのサポートとして、年末年始の14日間、外部の予備校講師をお招きして、国家試験対策を行っています。一人ひとりに対するケアについて常に重点を置いていますので、普段も学生3人に対して1名のスタッフを揃えています。

その他の年次については、各年次とも実習の授業を多く取り入れています。1年次の夏休みに、病院・薬局・企業で「早期体験学習」を実施。3年次には、10月頃からキャリアセンターと連携して就職活動支援を行っています。また、後期からは毎月1回模擬試験を行い、国家試験への意識育成・自信育成を図っています。

本学科は来年度から、完全に4年制から6年制に移行します。5・6年次には高度な臨床教育として、病院の薬剤部や薬局で行う6か月の実務実習などを予定しています。

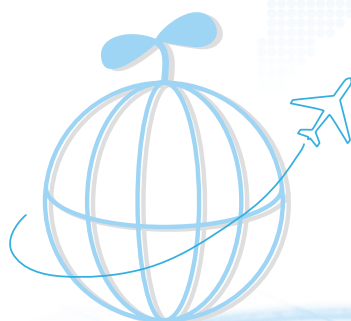


学部長杯！研究室対抗戦

海外研修

レポート

広島国際大学学生短期海外研修制度って何？



広島国際大学学生短期海外研修制度は、「各領域で活躍しうる職業人を育成し、地域社会と国際社会に貢献する」という広島国際大学の教育理念のもと、広い視野で国際問題を理解できる人材教育の一環として、2006年度からスタートした海外留学支援プログラムです。

このプログラムでは、本学に在籍する学生自身が研修内容を企画・提案して実行します。それぞれの学生に自己実現の機会を与えることを大きな目的としており、研修にかかる費用の50万円を限度として援助しています。

2008年度は、この制度を活用して9名の学生が夏季に海外研修を行いました。研修先などについては次の通りです。

2008年度海外研修

名 前	学 科	研 修 先	研 修 内 容
村田 健一朗さん	理学療法学科3年	アメリカ合衆国	語学研修・アメリカンフットボール部トレーナー活動参加
小川 知恵さん	看護学科3年	アメリカ合衆国	語学研修・「心の健康」を学ぶためにダンスレッスン参加
西沢 香織さん	臨床心理学科3年	カナダ	語学研修・卒業研究資料収集
伊藤 一也さん	理学療法学科3年	アメリカ合衆国	語学研修・カリフォルニア大学サンディエゴ校のスポーツ施設、周辺病院の見学
杉岡 彩加さん	コミュニケーション学科3年	韓国	語学研修（キョンヒ大学校のチューター制度利用）・卒業研究資料収集
後藤 朱里さん	医療工学専攻2年	アメリカ合衆国	大学院での研究テーマに関連するワシントン大学の研究施設視察
岸本 寛之さん	感性デザイン学科4年	ニュージーランド	語学研修・オークランド大学にてインターフェースデザインの研究交流
林 成樹さん	情報通信学科2年	ニュージーランド	語学研修・大学院での研究テーマに関連する観測施設の視察
金井 雅樹さん	コミュニケーション学科3年	アメリカ合衆国	語学研修・卒業研究資料収集

海外研修

レポート

世界にも眼を向けることができる
理学療法士をめざして
いききたいです。

私は、理学療法士としての視点からアメリカのスポーツ現場のトレーナー活動を見学すること、英語能力の向上を目的にネイティブの英語にふれアメリカの生活を体験したいという思いから、大学の短期海外研修支援制度を利用した、この研修を計画しました。

この研修ではとても多くのことを学び、肌で感じる事ができました。一番に感じたことは、人と接したり、何かをするのに人種の違いは関係ないということです。アメリカと日本では、文化や生活スタイルの違いがありますが、日本のことを理解してもらったために、積極的なコミュニケーションをしたらただけ相手も理解してくれて、すぐに仲良くなれることを知りました。



アメリカのトレーナー活動は1チームに何人ものトレーナーがおり、それぞれがケアや補助などの作業を行っていて、チーム一丸でサポートをすることの大切さを学びました。

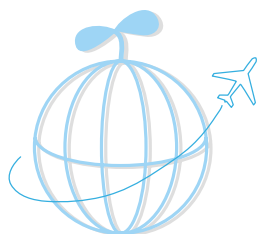
また、海外に約1か月いる間、日本を離れて改めて家族の優しさ、大切さに気づきました。この気持ちを大切に患者さんとも接していきたいです。

将来の活動としては、日本国内だけの理学療法士ではなく、世界にも眼を向けることのできる理学療法士をめざしていきたいです。そのためには英語能力が必要になってきますが、この機会を利用することで、その基礎を構築できたと思います。常に大きな視野で見ながらも、患者さん一人ひとりと真剣に向き合える理学療法士をめざします。

interview

村田健一郎さん

理学療法学科3年
研修先>>アメリカ合衆国





日本と外国を繋ぐ ツアーコンダクターになりたい と思っています。

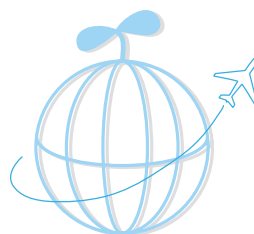


大学卒業後の就職先を、ツアーコンダクターと考えているため、語学力を向上させる必要があると感じ、この短期海外研修への応募を決意しました。また、来年の卒業研究の資料集めとして飲食店でのコミュニケーションの様相を、社会心理学的観点から検討も行いました。

研修先では1日中英語が学べる週35レッスンを選択し、語学力の向上に努めました。そのおかげで、英語力は自分に確実に身に付いたと感じています。しかし、フィールドワークは予定どおり進めることができず、当初予定していた調査結果が得られない等の反省すべき点もありました。そんな中、異文化の違いについて興味があったので、中国、スペイン、メキシコ出身の留学生を対象に英語でのインタビューを実施しました。どの国の人もとてもフレンドリー

に受け入れてくれましたが、同時に自分から積極的に行動することの大切さも学びました。また、インタビューした方々の共通の意見としては、家族と離れていることの辛さ、カナダという国の文化に適應することの難しさの2つがありました。私自身も家族と離れ寂しい思いをしましたが、ホームステイ先の家族が積極的に話しかけてくれたり、おいしい料理でもてなしをいただいたのでとても楽しく過ごすことができました。

1か月という短期間でしたが、語学力も鍛えられたので就職活動に向けて自分のためになったと感じています。この経験を生かして将来的には日本と外国を繋ぐツアーコンダクターになりたいと思っています。また、インタビュー調査の結果を、来年の卒業研究に生かしていくつもりです。



interview

西沢香織さん

臨床心理学科3年
研修先>>カナダ

海外研修

レポート

大学院へ進学した後は、留学か ワーキングホリデーをする 構想を練っています。

常々、語学学習のため英語圏へ向かい、かつ、私の専門分野（ヒューマンインタフェースに関すること）を、研修先でプレゼン・デモカッションし、今後の研究の糧にできたらと考えていました。

研修では、デジタルカメラや携帯電話などの液晶画面の切り変わりを、パソコン上のソフトウェアで疑似的に再現し、それを操作しました。その操作内容を評価し、どのような画面の切り変わりが使いやすいかを考える研究が私の専門分野です。

操作内容はソフトウェアでテキストファイルに出力し、主にこの操作内容をいかにして解析するかについてデモカッションを行いました。それにより、「現在の画面状態をおおまかに区別し、区別した個所ごとに階層として定量化する。その数字の増減に着目し、グラフ化する」「操作中のボタンを押した回数だけでなく、押すまでに要した時間にも着目する」などの意見を聞くことができました。

やはり海外でも、機器の操作に対して問題意識があり、根本的な考え方は日本と同じでした。しかし、どちらかと言うと日本と比べ論理よりも直観的にグラフィカルに考えてい

る印象を持ちました。なお、意見が上がった機能は研究への反映を終え、現在解析をしています。

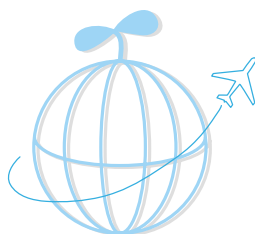
また語学学校では、語学力でレベル分けされたことで、クラスが同じ語学レベルの人で編成されており、それぞれの語学力に差がなく気兼ねなく楽しく話すことができました。滞在中の日常生活とは異なる形で英語を習得でき、大変刺激になりました。

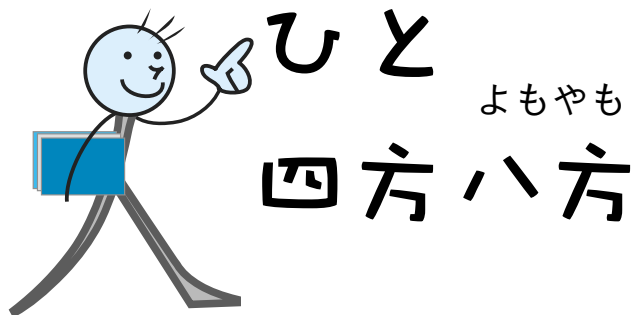
今後は、ネイティブが発音する英語に対する自分の理解力を養えさせないためにも、テレビや本を使って英語学習を続け、また海外において長期滞在することも考えています。大学院へ進学した後は、9月から1年間休学し、海外へ留学かワーキングホリデーをする構想を練っています。

interview

岸本寛之さん

感性デザイン学科4年
研修先>>ニュージーランド





H.I.U Human Close Up



【株式会社アビサル・ジャパンの委託研究】

看護学科教授 山口 求

乳幼児のスキンケアに関する研究

「シュガースクラブ」の効果

最近、アトピー性皮膚炎が乳幼児の4人に1人の割合にあると言われています。アレルギー反応によるアトピー性皮膚炎の原因には、食生活や住環境などの生活環境の変化など様々な要因があると考えられています。また、成人に比べ抵抗力の弱い乳幼児は、角質が薄く、表皮脂質量が少ないために、皮膚は傷つき容易に感染を繰り返す、アレルギー性の皮膚の原因となります。その治療として皮膚科の強力な治療として使われている『ステロイド軟膏』に頼っているのが現状です。

しかし、乳幼児にとっては、ステロイドのような皮膚炎の治療よりも、胎内環境と同じような清潔と保湿に優れた皮膚環境を確保するためのスキンケアを、提供することこそ基本的なことであり重要であると考えます。

我々の研究室では、2007年度に株式会社アビサル・ジャパンからの委託を受け、商品「シュガースクラブ」が乳幼児のスキンケアに適しているかどうかの研究を行い、その有効性を検討しております。

「シュガースクラブ」とは、てん菜糖（砂糖大根から抽出した砂糖80%に精油、食用油など20%）にオイルコーティングし、スキンケアを目的に開発された商品です。この特徴は、傷の治癒力を促進する砂糖を原料とし、吸水性の高いことから、皮膚の乾燥を防ぎ保湿効果があります。また、オイルをコーティングする

ことで肌に与える刺激を軽減しています。そして洗浄及びマッサージをすることで、皮膚の角質層に砂糖をスムーズに浸透させることができます。

この研究は、保護者から研究参加の同意が得られた5か月から4歳未満の28名の乳幼児を対象としたが、事前に、皮膚テスト（看護学部島谷智彦教授の協力）を実施して安全性を確認しております。テストの判定後に、シュガースクラブを使用した乳幼児群と使用しない乳幼児群に分けて、同じ条件で入浴（沐浴）を行い、入浴前と入浴後30分とを比較しました。その結果、シュガースクラブを使用した乳幼児群の入浴後30分の成績では、有意に高い保湿効果が得られました。

乳幼児の入浴前の肌状態は、カサカサしており乾燥による掻痒感からの掻傷の見られる児、アトピーの様な湿疹や発赤が見られる児がほとんどでした。「シュガースクラブ」を使用した乳幼児の肌は、入浴後にはしっとりし、発赤などの炎症症状も軽減しました。こうした結果はシュガースクラブには洗浄効果と保湿効果があることを示しております。傷つきやすい乳幼児の乾燥状態の肌に、シュガースクラブによるスキンケアは効果的であるといえるでしょう。

我々は2008年度も委託研究を継続しており、皮膚にトラブルのある乳幼児を対象にして1か月間の使用による変化からシュガースクラブの効果について研究しております。さらに、今後は、学童、思春期へと対象者を拡大してスキンケアに関する研究を続け、シュガースクラブの効果を研究していきたいと考えています。

日本の景気は2002年から6年にわたる戦後最長の回復が途切れ、後退局面に入つたとみられます。資源高と輸出鈍化で収益を圧迫された企業は生産と設備投資を抑え、消費心理も冷え込んでいます。米国の景気は先の金融危機の直撃で一段の減速が予想され、新興国経済の足取りも重くなっているようです。内外需ともけん引役を欠く中で、日本の景気後退は浅くても、低迷が長引く恐れがあります。

このような状況の中、いよいよ2010年3月卒業予定者(現3年次生)に対する企業側の新卒採用活動が10月より始動しました。9月には合同説明会への参加や工場見学を実施するなど先手を打った学生への意識付けを行い、10月からは毎週のようにガイダンスや業界研究会を行っています。12月13日(土)には中・四国の大学生を対象としたオープンセミナー(合同企業説明会)を本学で実施しました。今までのように決して安穩とできない状況の中、2009年度の就職戦線は徐々に鼓動を強めています。

広国大

就職

サポーター

Fight!

interview

東 達也さん

株式会社伊藤園 営業担当

2008年人間環境学部
感性情報学科卒業

3年次の3月から進路について真剣に考えはじめました。キャリアアセンターの方が親身になって進路について相談にのってくださり、現在就職している会社を紹介していただきました。私は営業という職種で勤務していますので、お客様と接する機会が多いため、コミュニケーションが楽しいと感じています。そのコミュニケーション能力は、広島国際大学在学中に先生方や大学職員の方から学べたものだ実感しています。

進路選びについては、自分の理想の進路に近づけるよう、しっかりと考え、自分で調べることも大事だと思います。

12月は、学生が多感な時なので、保護者の皆様には就職活動の「がんばり」を認めてあげた上で、見守っていただけると学生も心強いと思います。

「お米を食べようキャンペーン2008」の報告と御礼 広国大保護者の皆様へ

先月半ば後援会のご援助を得て学食にて表題のイベントを行いました。ご飯付きメニューを原則50円引き・さらに大盛を無料にし、夜の営業時には全品売切れになるという予想以上の好評を博し、無事終了しました。ご支援いただきありがとうございました。

近年では、若者を中心に米の消費量が減っていると言われており、広国大の学食でも「おかずのみ」というメニューが人気です。また、春からのパン類の値上げにより、「お金が無いので昼食を減らすことがある」との学生の声も。このことから、新米が出回る時期に、少しでもおいしいご飯を口にする機会を多くして欲しいという願いから11月半ばに実施することになりました。

期間中はご飯の消費量が格段に増えましたが、共に人気集中しすぎたため、今後はバランスの良い食事をしっかりとっていただくという本来の目的を果たすよう、定食に絞ったイベントも考えております。

私どもはご子息の大学生活における食育を推進していくという職務を忘れずに全うしていく所存です。今後とも応援よろしくお願い申し上げます。



キャンペーン中には、ご飯を求めて、いつもより長い列ができました。

広島厚生会

後援会・大学等へのご意見・ご質問は、右記メールアドレスまで

kouenkai@ofc.hirokoku-u.ac.jp